



## 全力は美なり ～ 実りの秋へ ～



日が暮れる時間も早くなり、徐々に秋らしさを感じられる季節となってきました。

2学期が始まってからの1ヶ月、ご家庭での体調管理や感染防止対策を徹底していただいているおかげで、子供たちは緊急事態宣言下においても、元気に学校生活を送ることができました。今後も子供たちの安全を第一に、リスクについては検討しつつ、十分な安全対策を取りながら子供たちの成長に必要な活動の充実を図ってまいります。

さて、体力向上のための朝マラソンも始まりました。また、22日は運動会もあります。6年生は親善運動会の代替となる校内記録会の練習が計画され、12月には校内持久走大会も予定しております。学習においても2学期以降は内容も濃くなり、今の頑張りが次の学年へとつながる大切な時期となってきました。今まで以上に全力で取り組むべきことが多くなる子供たちに、「全力は美なり」という言葉伝えたいと思います。スポーツに限らず、全力を尽くし、力を出し切った姿は人を感動させ、「自分はここまでできる」という「自信」にもつながります。大事なことは、全力を出し切るという経験の積み重ねです。子供たちの中には、自身に対するハードルが低く、安易に「努力した、がんばった」と口にする子がいます。まだまだ自分の姿を客観的に捉えにくい時期ではありますが、「努力する人は希望を語り 怠ける人は不満を語る」という言葉の頭の隅に置き、自分自身の姿を見つめてもらいたいと思います。努力（全力で取り組む）している人は、「もっとこうなりたい」「最終的にこんな自分に成長していきたい」と夢を語ります。怠けている者は、「調子が悪かったから」「相手が悪かったから」と、「〇〇だったから」の言い訳ばかりを話します。夢が語れないうちは、力を出し切っていないということです。子供たちには、学校での様々な経験を通して、何事にも全力で取り組むことの美しさや価値を学ばせ、自分の夢を語り、夢に向けて努力する力を育てていきたいと考えます。ぜひ、ご家庭でも温かく、時には厳しく叱咤激励をしながら、子供たちに全力で取り組むことの素晴らしさを実感させていただければと思います。※朝マラソンでは「〇周走ればよい」から、「時間内に何週走れるか」を目標にする児童が増えています。まさに「全力は美なり」です。



### 思いやりのある子

## 大寄小学校 いじめ撲滅宣言

### 〈スローガン〉 相手の気持ちを考えて、思いやりのある行動をします

いじめ・暴力行為撲滅強化月間への取組として、児童会が中心となりスローガンを作成しました。14日の放送による児童朝会では、児童会長の松崎さんが、「同じ言葉や行動でも、人によって感じ方は違うので相手の気持ちを考えて行動することが大切です。皆さんには、このスローガンに向かっての行動を心がけ、いじめのない大寄小をつくっていき、大寄小からいじめを完全になくしましょう。」と力強く宣言してくれました。これを受けて各クラスで考えた宣言は以下の通りです。

- ・ けやき1組 だれにでもあいさつをします。
- ・ けやき2組 人のいやがることをしません。
- ・ 1年1組 人のいやがることはしません。
- ・ 2年1組 暴力や悪口はせず、みんなでなかよく生活します。
- ・ 3年1組 インターネットで文書を送る時も人を傷つけないようにする。
- ・ 4年1組 だれに対しても進んであいさつをします。
- ・ 5年1組 困っている人がいたら、優しい言葉ではげます。
- ・ 6年1組 暴言・暴力をしません。



これらを意識して行動するために、児童会でチェックシートを作成してくれました。チェック項目は、

- ① 相手のことを考えて行動します。
- ② 優しい言葉で話します。
- ③ 各クラスの宣言内容



毎日この3つの項目で自分自身の行動を振り返ります。最終的に個々の「いじめ撲滅宣言」を掲げ、相手のことを思いやり、笑顔あふれる大寄小をつくり上げていくための、心と行動力を身につけます。子供たちにも話しましたが、一人一人が本気で考え本気で取り組めば、いじめは完全になくせます。ご家庭でも、子供たちがどんな宣言を掲げ、実践しようとしているかを知っていただき、子供たちの実践が家庭や地域に伝わり、更に心温かな地域になると素敵ですね。



5月に行われた、埼玉県学力・学習状況調査（4～6年）と全国学力・学習状況調査（6年）の結果が返ってきました。（この後個人結果をお渡しします。）各種の学力調査は、客観的に子供たちの学力の傾向を知ることができ、学習面での本校の課題を知り、授業改善等に取り組みながら、更に子供たちの学力向上を図っていくためのものです。特に「埼玉県学力・学習調査」は、自分の学力が一年でどれだけ伸びたかが見える調査です。学校では、これらの調査の結果分析を行いながら、学力向上につなげるための研究と実践を行っています。

さて、質問紙から見えてくる大寄小の子供たちの傾向は…

<子供たちのよさ>

- 基本的な生活習慣や学習規律は身につけていると感じている児童が多い。（けじめある生活、ルール・マナーを守る等の内容での肯定的な回答が多い）
- 先生に対する信頼度が高い。（先生に褒められたい、先生はよさを認めてくれる、先生はできるまで教えてくれる等での肯定的な回答が県・市よりも高い）
- 仲間に対する信頼度も高い。（友達はよいところを認めてくれる、友達に認められることは大切、クラスでまとまって行事等に取り組んでいる等の肯定的な回答が県・市よりも高い）
- 勉強は楽しい、勉強は将来役に立つと考えている児童が多い。
- 本を読んでいる児童が多い。（1か月に1冊も本を読まない児童が0%（県平均 12.4%・市平均 8.6%）、また、5冊以上読んでいる割合が高い（本校 55.8% 県平均 37.1%・市平均 42.8%）

<課題>

- ▲「自分によいところがある」の肯定的な回答が、県・市より低い学年もある。
- ▲ゲームや携帯電話等の使い方に、約束がないと答える児童が学年を追って増えている。（本校 66.7%・市 38.2%）
- ▲ゲーム時間が多く（月～金曜日のゲーム時間4時間以上が県・市より高い。）、また、家庭学習の時間が短い（家庭での学習時間のトータルは県・市と変わらないが、平日3時間以上・休日4時間以上の割合が低い。）
- ▲1日あたりICT機器を勉強のために使っている時間が、「全く使っていない」と回答した児童が多い。（本校は 33.0%（県 19%・全国 20.0%）

<結果から見えてくること ～今後に向けて～>

◇生活習慣や学習規律等は良好で、教師や仲間との人間関係のよさが本校の強みであり、学力が伸びる要素は兼ね備えていると考えられます。しかしながら、平均正答率や学力レベルは教科や学年により、県や市に比べ下回っているものもあります。今後はじっくり考え表現したり、友達と考えを比較したりする主体的・協働的な授業の充実と、学校生活の充実により、子供たちに「自信」を与えてまいります。ご家庭では、ゲームや携帯電話等の使用方法について改めて子供と約束を確認し、まずはじっくり家庭学習に向かえる環境づくりをお願いいたします。

# 10月

の主な予定

毎日11日を定期アクセス訓練日としていただきます。9月達成率は98%です。



1	金	にじいろの会1・2年	16	土	★資源回収
2	土		17	日	※資源回収予備日
3	日		18	月	職員研修
4	月	★あいさつキャンペーン (2年・児童会・代表委員) <b>お迎えさんま</b>	19	火	運動会係打ち合わせ
5	火	6年親善運動会（後日、校内記録会実施） 全校朝会 委員会	20	水	
6	水	◇6つの誓いの日	21	木	稲刈り(5年) 運動会準備 6校時(5・6年)
7	木	4年校外学習 渋沢栄一記念館ほか	22	金	運動会(午前)
8	金	1・2年校外学習 こども動物自然公園ほか にじいろの会 5・6年生	23	土	
9	土		24	日	
10	日		25	月	※運動会予備日 <b>お迎えさんま</b>
11	月	職員会議 ◇緊急連絡サイト	26	火	クラブ
12	火	クラブ	27	水	
13	水	月木4時間 就学時検診 <b>お迎えさんま</b>	28	木	
14	木	教育相談日	29	金	にじいろの会1・2年
15	金	にじいろの会3・4年	30	土	はやき祭（後日、学習発表会を実施）
			31	日	

◇感染防止の状況に応じて、行事等の急な変更があるかもしれません。学校からの通知やHPでの確認をお願いします。また、各行事の詳細につきましては、学校からの通知でご確認ください。

## 9月の学校生活から

◇リモートによる家庭と学校のつながりもスムーズに行えるようになってきました。放課後の確認の際には、ついさっきまで一緒に教室で過ごしていたにも関わらず、画面越しでの対面を喜んでいる児童と先生の様子が何とも微笑ましい光景でした。



◇15日には、毎日使っている校庭を自分たちの手できれいにしよう、全校による校庭の石拾いと草むしりを行いました。どの学年も限られた時間の中、一生懸命に作業をしてくれました。学校の環境整備に子供たちが関わることは大切な活動だと考えます。



